

2025年度秋 semester フィールド・スタディ 募集プログラム一覧 / Offered programs for AY2025FA Field Study

※以下はプログラム概要です。シラバスは2025年10月頃公開予定です。Following is the program outline. Full syllabus will be uploaded around October 2025.

学部 College	科目 Subject field	担当教員 Faculty Name	プログラム名 Program	プログラム概要 Program outline	開講言語 Language	単位数 No. of credits	実習地 Site
APS	文化・社会・メディア フィールド・スタディ (CSM)	金 賛會 KIM Chan Hoe	韓国(济州島または釜山とその周辺) 地域の宗教(神話、シャーマニズムなど)と文化(社会、政治、歴史、言語、教育、経済など)の変容	<p>1. 本プログラムでは、フィールドワークの対象地である韓国(济州島または釜山とその周辺)地域に赴き、神話やシャーマニズム(民間宗教)などに焦点を当て、神話の伝承地などを調査する。それとともにそれらを変容させた、地域社会、政治、歴史、経済、教育などの文化の現場(主に日本と関連する济州島近現代遺跡地)を見学・調査し、まとめることで、地域社会の置かれた問題や課題などを理解し、あわせて今後の対策などを提案する。</p> <p>2. その目的を達成させるために、現在でも数多く残っている神話、宗教などに関連する伝承地や、リアリティーな儀礼の現場、関連施設、そして釜山とその周辺地域または济州島地域の近現代遺跡地などを見学し、現地の研究者やシャーマン、遺跡地の関係者の話も聞き、それらを通じてグローバルな現代社会を生きるための実践的な思考を養う。</p> <p>3. 日本と距離の近い釜山やその周辺地域、または济州島地域は、日本やアジア太平洋地域の文化とも共通するところもあり、海の彼方から来訪する神々に関する神話やシャーマンによる儀礼、海女文化などが数多く存在する。しかし、そうした釜山やその周辺地域、または济州島の伝統的なシャーマニズムなどの宗教文化は、新自由主義への移行後、政治や経済、教育などの近代化政策によって様々な変容を起こしている。そこで本プログラムでは、その社会的、文化的背景を知るために、釜山やその周辺地域、または济州島の政治や行政、経済、歴史、社会、言語、教育、文化などについて、学生それぞれが関心のテーマを設定、現場を訪問し、その現状をヒアリングして分析する。そして現地の大学生も加え、多文化比較の視点で討論を行うことで、地域社会の置かれた問題点や課題を診断し、対策などを考える。これによって本プログラムの多文化協同学習を実践し、未来社会を生きるグローバルな思考を養う。</p>	J	2	韓国(济州島または釜山地域とその周辺地域)を予定
APS	国際関係 フィールド・スタディ (IRPS)	西崎 義則 NISHIZAKI Yoshinori	Fieldwork in Singapore: Exploring the secrets and current challenges of the prosperous city-state in Southeast Asia	<p>This program will focus on the history, politics, society, and economy of Singapore, a tiny yet prosperous city-state in Southeast Asia, whose GDP has now far surpassed that of its former colonial masters – Britain and Japan. Through intensive reading, discussion, and local fieldwork, students will gain a deeper and critical understanding of how Singapore has become the way it is, what kinds of problems or challenges it faces at present, and where it might be heading in the years to come. While in Singapore, students will be given free rein to conduct their fieldwork in any way they choose. Tentatively, they will also have a chance to meet and interact with one or more Singaporean scholars who have written some of the readings assigned in this course. At the end of the course, each student will submit a short research report on any issue they like concerning Singapore. Students from any background and at any stage are welcome to come aboard, regardless of whether they intend to write their senior theses on Singapore or are simply interested in learning more about this well-governed one-party state.</p>	E	2	Singapore
APS	文化・社会・メディア フィールド・スタディ (CSM)	眞田 貴絵 SANADA Kie	森林セクターのイノベーションと地域活性化	<p>林産業は戦後以来、丸太を育てる第一次産業とみなされてきました。日本では戦後、国策として大規模な植林が行われましたが、さまざまな要因から日本の林産業の国際的競争力は低く推移してきました。さらに高齢化・過疎化などに後押しされ、担い手不足に陥っているのが現状です。</p> <p>しかし近年、持続可能な社会という考え方が社会に受容されるとともに、多様な価値を生むリソースとして森林の社会的役割が再認識されはじめています。災害の防止、獣害の抑制、生態系保護、脱炭素化、エネルギー源、生活の質の向上、信仰の源泉など、森林が果たしてきた社会的役割は多岐に渡り、これらを維持するには森林の適切で持続的なメンテナンスが必要なのです。</p> <p>ではどうすればいいのか？これを出発点にして、森林を単なるマテリアルとしてではなく、持続可能な社会に貢献するサービスを提供するためのリソースとして捉えるパラダイムシフトが世界規模で起こっています。</p> <p>大分県は日本国内でも有数の林産県であり、同様のパラダイムシフトがまさに起ころうとしています。実際に森林に関わる事業を展開している県内の事業者さんの協力のもと、どのようなきっかけで、どのような発想の転換があり、どのようなパラダイムシフトが起こっているのか？新しい森林ビジネスとは？森林セクターでのイノベーションとは？またこの実現のために障害になっているものは何か？など、実際に仕事場を見学をさせていただいた上で、事業と展望についてお話を聞かせていただく予定です。この上で森林ビジネス分野におけるイノベーションが地域の活性化にどのようにつながるのか？を社会学的視点から考察する、調査発見型の授業です。</p>	J	2	大分県日田市

学部 College	テーマ Theme (category)	担当教員 Faculty Name	プログラム名 Program	プログラム概要 Program outline	開講言語 Language	単位数 No. of credits	実習地 Site
APM	Bridging theory and practice	重本 彰子 SHIGEMOTO Akiko	醤油業界におけるステークホルダーとの共生	日本の伝統的な食ビジネスとしての醤油業界に携わる人々との交流を通して、大企業、中小企業、そして地域に根づく零細企業との共存共栄について、そして醤油業界を取り巻く国内外のステークホルダー(消費者、供給業者、農家など)との共生の在り方について学び、ビジネスの目的、会社の存在意義や役割、そして食品業界の仕組みを理解する。また、醤油製法における発酵技術の活用によるビジネスの拡大や国際展開など、食育や食文化の継承とビジネスの役割等についても展望する。 事前授業にて外部から講師を招聘し、現状や課題について学ぶ機会を設け、実習では、醤油メーカーの大企業、中小企業、零細企業での企業訪問ならびに工場見学を実施する。実習地は、兵庫県高砂市のキッコーマン食品高砂工場、大分県臼杵市のフドーキン醤油、福岡県筑紫野市の福岡県醤油工業協同組合を訪問予定。	J	2	兵庫県高砂市、大分県臼杵市、福岡県筑紫野市
APM	Creating social impact through business	藤本 武士 FUJIMOTO Takeshi	ベンチャー・スタートアップ企業・グローバルニッチ企業のマネジメント	本プログラムは、ベンチャー・スタートアップ企業や特殊分野で国際ビジネスを展開する企業の事業戦略について、企業の訪問・ヒアリングを通じたケーススタディを行うものである。	J	2	関東

学部 College	講義分野 Subject field	担当教員 Faculty Name	プログラム名 Program	プログラム概要 Program outline	開講言語 Language	単位数 No. of credits	実習地 Site
ST	観光学 地域づくり 環境学	秋 semester 着任予定教員 New faculty member who will be joining in Fall Semester	フィールドスタディ 北九州市の環境問題の取り組みと産業遺産を活用した地域づくりを学ぶ	(事前授業):北九州市の歴史・沿革 公害問題及びエコタウン形成の取り組みを予習。フィールドワークの手法を学び、実習での調査目標を計画する。 (現地実習):北九州市環境局での環境講座に参加・市内環境産業の視察・エコタウン事業の見学・環境ミュージアム、漫画ミュージアム見学・明治産業遺産を門司港レトロ地区で見学・下関エリアの歴史遺産を見学。滞在中は毎晩グループワークの作業予定。 (事後授業):実習の振り返り及びグループワークの発表会を行う。	J	2	福岡県北九州市
ST	地域づくり 観光学 観光産業	吉澤 清良 YOSHIZAWA Kiyoyoshi	まち歩き(観光)の先進的取り組み、「長崎さるく」に学ぶ	観光まちづくりの手段として「まち歩き(観光)」に取り組む自治体が増えています。本プログラムでは先進事例の長崎市を例に、人を活かし街を活かす「まち歩き(観光)」の要諦を学びます。特に実習では、「長崎さるく博'06」において中心的な役割を担った市民が組織した「NPO法人長崎コンプラドール」の協力を得て、まち歩き体験や意見交換などを行い、まち歩き(観光)が長崎市に与えた影響、その意義(位置づけ、価値)、街の見方・見せ方、ガイドの活かし方、事業の継続のヒントなどを学びます。 また、長崎市内の主要な観光資源や長崎の街なかを自らの目(外の目・学生目線)で踏査し、観光資源の見方・見せ方を学ぶとともに、新たな魅力素材を発見する力、それらを活かす(表現する)力(例:マップ素案、コース素案の作成等)を養います。	J	2	長崎県長崎市
ST	国際開発 社会起業	KC Dipendra	Sustainable Development with Local and International Development Actors in Thailand	This practicum course offers students a unique opportunity to understand international development in Bangkok, Thailand, through hands-on experiences and interactions with key actors operating at micro, meso, and macro levels. Students will engage with local social entrepreneurs, supporting organizations, and United Nations agencies to explore how sustainability and development are promoted in the region. The course is designed to provide students with insights into the multifaceted nature of development, as well as valuable practical experience to supplement their academic studies. Throughout the course, students will engage in a combination of lectures, discussions, site visits, and hands-on activities to deepen their understanding of international development and its various dimensions. By the end of the practicum, students will have gained valuable insights into the complex interplay of actors and factors shaping sustainable development in Thailand and beyond.	E	2	Bangkok, Thailand
ST		TBA		・現時点で未定ですが、STからは4つプログラムを募集する予定です。 ・We are planning to implement 4 programs from ST, although 4th program is undecided at this time.			